



Vol. 11  
夢のある話

# こんにちは 絵本



— 3才頃から —



一宮市立子ども文化広場図書館

～ 子ども読書のまち いちのみや ～

2020年4月



## 本屋のラク 9回生きたねこのはなし

くどう かずし 文/やまぐち ぴこ 絵  
出版ワークス 2019年

小さな本屋でくらす、やさしそうな男の子ソウタに飼われることになった黒い子ねこのラク。ある日、天からの声が聞こえ天国へ行くことに…。やがてラクは生まれ変わった姿で、ソウタに会いに行きます。



## かさじぞう

令丈 ヒロ子 文/野村 たかあき 絵  
講談社 2012年

ある年の大みそか、作った笠を町まで売りに行ったじいさま。でも、笠はひとつも売れませんでした。雪の降る帰り道、じいさまはその笠をおじぞうさまにかぶせてあげました。すると、その晩ふしぎな事が…。



## おうさまのくつ

ヘレン・ビル 文/ルイス・スロボドキン 絵  
こみや ゆう 訳  
瑞雲舎 2015年

むかし、ある町の靴屋が、金色に輝りつばな靴を作りました。「おうさまがはくようなくつだ」とみんながほめるので、靴はうぬぼれやになってしまいました。ある日、お城をめざして靴が店を飛び出しました。



## ポリンはポリン

本間 正樹 文/たかす かずみ 絵  
佼成出版社 2004年

ポリンはタヌキの女の子、とてもうらやましがり屋さん。「ウサギさんかシカさんになりたいな」と言うポリンに、おばあちゃんが夢の国へ行ってみようと誘います。気がつくと、二人で木の葉にのって…。



## はるまちくまさん

ケビン・ヘンクス さく/いしい むつみ やく  
BL出版 2009年

くまがほら穴で冬眠を始めました。くまは体をまるめ、ねむり、夢をみました。春・夏・秋・冬のすてきな夢を…。ようやく目をさましたくまは、あくびをして のびをして、ほら穴から頭をだしました。



## イヌと友だちのバイオリン

デイビッド・リッチフィールド 作／俵 万智 訳  
ポプラ社 2019年

バイオリン弾きのヘクターが街で演奏しています。そばで聴いているのは、大の仲良しの犬のヒューゴ。ヘクターが弾くバイオリンが大好きです。でも、ある晩からヘクターは演奏しなくなっていました。



## そらをとんだワンダ

小手鞠 るい 作／たかす かずみ 絵  
マイクロマガジン社 2019年

川でおぼれていたライオンのあかちゃんをお父さんが連れて帰りました。坊やは「ワンダ」と名付け仲良くなりましたが、お父さんは草原に帰すことにしました。家族を探す旅に出たワンダ、最後には…。



## まばつり

広瀬 克也 作  
佼成出版社 2015年

ある日和尚さんは、道具のおばけが押し寄せてくる夢をみました。和尚さんの夢のおつげはよく当たることで有名です。それで村人たちは、おばけを追い出そうと祭りをひらくことにしました。するとそこへ…。



## ゆめのとびらをひらくとき

カール・ニューソン 作／岡田 千晶 絵  
おかだ こう 訳  
岩崎書店 2018年

いちにちが終り、ルナはおふとんに入ります。目をとじてお願いごとをして、ママといっしょに夢の時間を過ごします。広い空をとんで、くじらが泳ぐ海へもぐります。さあ、次はどんな夢を見るのかな。



## おじいちゃんとのやくそく

石津 ちひろ 文／松成 真理子 絵  
光村教育図書 2014年

おじいちゃんとのぞみは大の仲良しで、いつもいろんな話をしていました。ところが、おじいちゃんが倒れ、天国へ旅立ってしまいました。悲しくてたまらないのぞみは、ある日夢の中で、おじいちゃんと…。

## まだまだ紹介します

### 『ぶどう畑のアオさん』

馬場 のぼる 文・絵  
こぐま社 2001年

### 『ゆめみるひつじのおくりもの』

刀根 里衣 絵・文  
小学館 2016年

### 『まよなかのトラ』

ヒド・ファン・ヘネヒテン 作・絵  
野坂 悦子 訳  
ディー・ティー・ジャパン 2015年

### 『ワニくんとパーティーにいったんだ』

ジュディス・カー 作・絵  
こだま ともこ 訳  
徳間書店 2015年

### 『あつい！！』

木曾 秀夫 作・絵  
フレーベル館 2014年

### 『ゆめみるピンピキ』

深見 春夫 作・絵  
岩崎書店 1990年

### 『ネムネムのじかん』

メグ・パイバス ぶん  
キャサリン・パイバス ぶん  
ペトラ・ブラウン え  
石津 ちひろ やく  
BL出版 2013年

### 『こねずみトのこわいゆめ』

ルイス・バウム 文  
スー・ヘラード 絵  
ゆら しょうこ 訳  
徳間書店 2008年



読み聞かせは、多くの言葉を聞くことで文章の理解力が増し、自然に語彙力が養われるといわれています。また、親子のスキンシップやコミュニケーションがうまれる大切なひとときです。こどもだけでなく、パパやママにとっても、かけがえのない時間になります。

上手に読もうとせず、目を見て話しかけるように読んであげてくださいね。ゆっくり、のんびり、楽しみながら読み進めましょう。

